

青森市ホームページ広告の掲載に関する条件付一般競争入札実施要領

(趣旨)

第1条 この要領は、青森市ホームページ広告掲載要綱（平成28年4月1日実施）第7条第1項に規定する広告取扱業者の選定に係る条件付一般競争入札の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(入札参加資格)

第2条 条件付一般競争入札に参加するために必要な資格（以下「入札参加資格」という。）は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号。以下「政令」という。）第167条の4第1項の規定に該当しない者であること。
- (2) 公告の日から過去3年間において、政令第167条の4第2項各号のいずれかに該当すると認められたことがない者であること。
- (3) 会社法（平成17年法律第86号）第475条若しくは第644条の規定に基づく清算の開始、破産法（平成16年法律第75号）第18条若しくは第19条の規定に基づく破産手続開始の申立て、会社更生法（平成14年法律第154号）第17条の規定に基づく更生手続開始の申立て又は民事再生法（平成11年法律第225号）第21条の規定に基づく再生手続開始の申立てがなされた者でないこと。
- (4) 青森市競争入札参加資格業者指名停止要領（平成17年4月1日実施）の規定による停止措置を受けていない者であること。
- (5) 青森市競争入札参加資格等に関する規則（平成17年4月1日規則第161号）第6条の規定により、業種「企画製作等業務」部門「広告企画製作業務」に係る競争入札参加資格の認定の通知を受けた者であること。
- (6) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員がその役員となっていない法人その他暴力団員が経営に関与していないと認められる者で、適正な競争を妨げるおそれがないと認められる者であること。
- (7) その他市長が入札を適正かつ合理的に行うため必要があると認めた資格を有する者であること。

(公告)

第3条 市長は、広告取扱業者の選定について条件付一般競争入札により契約を締結しようとするときは、政令第167条の6第1項の規定による公告（以下「公告」という。）を行い、その周知を図るものとする。

(入札参加申請)

第4条 条件付一般競争入札に参加しようとする者は、公告において指定する期日までに、別に定める申請書を市長に提出し、入札参加資格の有無について確認を受けなければならない。

(入札参加資格の確認)

第5条 市長は、前条の規定による申請を審査して入札参加資格の有無を確認し、その結果を別に定める通知書により当該申請者に通知するものとする。

- 2 前項の場合において、入札参加資格がないとした者については、その理由を付すものとする。
- 3 入札参加資格がないとされた者は、所定の期限までに説明を求めることができる。
- 4 市長は、前項の請求があった場合において、当該請求に理由がないと認めるときは、速やかに文書で回答し、当該請求に理由があると認めるときは、入札参加資格を有する者として当該入札に参加させる旨を通知するものとする。

(入札参加資格の喪失)

第6条 前条の規定により、当該入札参加資格を有するとされた者（以下「参加資格者」という。）が、入札日までの間に次の各号のいずれかに該当することとなったときは、当該入札に参加することができない。

- (1) 入札参加資格を有しないこととなったとき。
 - (2) 入札参加申請及びその添付書類に虚偽の事項を記載していることが明らかになったとき。
- 2 前項の場合において、市長は、速やかに当該参加資格者に対し、理由を付して通知するものとする。

(募集要項の縦覧等)

第7条 入札に係る募集要項、契約書（案）、仕様書（案）等（以下「募集要項等」という。）の縦覧及び配付は、公告で定めるところにより行うものとする。

(質問及び回答)

第8条 募集要項等に関して質問がある者は、別に定める質問書を提出期限日までに、市長に提出しなければならない。

- 2 市長は、前項の質問書を受理したときは、期間を定め回答するものとする。

(入札の執行等)

第9条 入札の執行については、次に定めるところによる。

- (1) 市長は、第5条第1項の規定による資格確認の結果、参加資格者が2者以上ある場合は入札を執行する。この場合においては、入札の執行時に当該入札に参加するものが1者であっても入札を執行することができる。
 - (2) 参加資格者が1者の場合は入札を実施せず、当該参加資格者に見積書の提出を求めた上で、取扱業者を決定するものとする。
 - (3) 入札の執行回数は、1回とする。
- 2 入札参加者は、別に定める入札書に必要な事項を記載し、記名押印の上、公告において指定した日時及び場所において、市長の指示により提出しなければならない。
- 3 郵便による入札は、認めない。
- 4 同一人が代表者となる法人等は、重複して入札に参加することはできない。
- 5 入札参加者は、市長から示された募集要項等その他契約締結に必要な条件を検討の上、入札しなければならない。

(入札の辞退)

第10条 入札参加者は、入札執行の完了に至るまでは、いつでも入札を辞退することができる。

- 2 入札を辞退するときは、次に掲げるところにより申し出るものとする。
- (1) 入札執行日前にあつては、別に定める入札辞退届を市長に直接持参又は郵送（入札日の前日までに到達するものに限る。）により提出して行う。
 - (2) 入札執行日にあつては、入札辞退届又は入札を辞退する旨を明記した入札書を、入札を執行する者に直接提出して行う。
- 3 入札を辞退した者は、これを理由として以後の入札において不利益な取扱いを受けるものではない。

(入札書の差換え等の禁止)

第11条 入札参加者は、その提出した入札書の差換え、引換え又は撤回をすることができない。

(入札の中止)

第12条 市長は、次に該当する場合は、入札の執行を延期し、又は中止することができる。

- (1) 不正な入札が行われるおそれがあると認められるとき。
 - (2) 開札前において、天災、地変その他やむを得ない事由が生じたとき。
 - (3) 前2号に定めるもののほか、市長が必要と認めるとき。
- 2 入札参加者が入札に参加するために要した費用は、入札参加者の負担とし、前項の規定により入札を中止した場合も、同様とする。

(開札)

第 13 条 開札は、入札の終了後、直ちに当該入札の場所において、原則として入札参加者を立ち合わせて行う。

(入札の無効)

第 14 条 次の各号のいずれかに該当する入札は、無効とする。

- (1) 入札参加者資格を有しない者のした入札
- (2) 所定の日時までに所定の場所に持参しない入札
- (3) 入札に際して談合等による不正行為があった入札
- (4) 談合情報の内容と同様の内容の結果となった入札
- (5) 入札に対し 2 以上の意思表示をした入札
- (6) 他人の代理を兼ね又は 2 以上の代理をした者の入札
- (7) 記名及び押印のない入札
- (8) 入札書の記載事項が確認できない入札又は鉛筆や消せるボールペン書きの入札
- (9) 入札書の金額の表示を改ざん又は訂正した入札
- (10) その他入札条件に違反した入札

(落札者の決定)

第 15 条 市長は、予定価格以上の額で、最高の価格をもって入札した者を落札者とする。

(くじによる落札者の決定)

第 16 条 落札者となるべき同価が 2 人以上あるときは、直ちに、当該入札参加者にくじを引かせて落札者を決定する。

2 前項の場合において、当該入札参加者のうち、くじを引かない者があるときは、これに代わって、当該入札事務に関係のない市職員がくじを引くものとする。

(入札結果等の公表)

第 17 条 市長は、落札者を決定したときは、速やかに落札結果を公表するものとする。

(その他)

第 18 条 この要領に定めるもののほか、青森市ホームページ広告の掲載に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(実施期日)

この要領は、平成 28 年 1 月 20 日から実施する。